配置薬業界の動向と現状

2024 年度日本のドラッグストア実態調査において 10 兆円産業を達成された。一方、配置薬業界は約 9,000 億円と推定し、売上規模で約百分の一となる。配置薬業界の動向と現状の規模について、業界最大団体の全国配置薬協会令和７年度総会と富山県くすり振興課公表の内容を、業界紙「家庭薬新聞」８月５日号掲載記事を転載させて頂く。

全国配置薬協会の令和７年度定時総会

（一社）全国配置薬協会（大北正人会長）は、令和７年度定時総会を７月 23 日午後２時から東京都港区のアジュール竹芝で開催、製薬・配置両部会を廃止する定款変更を決議し、製販一体型の組織体制で再任された大北会長の下、新たなスタートを切った。定款一部変更の件では、製薬、配置両部会の廃止に伴い関連項目の削除や修正を行うもので、過日の理事会で承認されたことが伝えられ、原案を承認した。

新年度事業計画は、組織改革による製薬、配置両部会の廃止と本部一本化を通じ、より配置薬業の振興発展に重点を置いた事業並びに予算の策定に取り組み、配置薬ｅラーニングや配置販売経営勉強会を通じた配置従事者のレベルアップ、合同商談会や配置薬ショールームの内容充実と製販企業交流の活発化、「配置は１つ」を目指した組織強化と事業充実などを掲げると共に、

〇セルフメディケーションの普及推進＝セルフメディケーション減税の利用拡大に向け、適用対象をＯＴＣ医薬品全体に拡大するよう要望、ＯＴＣ類似医薬品の医療保険適用見直しを要望

〇改正薬機法への対応＝「濫用防止指定医薬品」の適正な配置販売に係るガイドライン策定、薬剤師等に遠隔販売による登録受渡業者制度導入への対応、配置販売業の情報提供・相談応需等に係るデジタル技術の活用

〇組織強化＝未加入府県および協議会未結成府県の解消、配置他団体との連携協調、広域法人配置販売会社との連携強化

〇８月１日・配置薬の日統一活動

〇懸場帳保全および不回り・放置得意の解消

〇地震等の災害被災地支援に係る規定の整備

を掲げている。

令和６年末の全国の配置販売業者数と従事者数

富山県厚生部くすり振興課は7月 29 日、令和6年 12 月末日現在の「医薬品配置販売業者数及び配置従事者数」の全国集計をまとめ公表した。本調査は富山県が各都道府県薬務主管課を対象に調査したもので、各都道府県において交付している配置販売業許可件数並びに配置従事者身分証明書の発行件数を聞き取り、12 月末日（身分証明書の期限日となる）現在の数値をまとめて公表している。配置従事者数は対前年比 826 人（8.7%）の減少で、これは 15 年間連続となる。

令和6年/5 年 12月末現在の配置販売業・配置従事者（新配置・既存配置別）

	配置従事者数			業許可件数		
	令和５年	令和６年	増　減	令和５年	令和６年	増　減
新配置	5,821	5,503	-318	2 ,369	2,295	-74
既存配置	3,629	3,121	-508	2,541	2,227	-314
合　計	9,450	8,624	-826	4,910	4,522	-368